



事業所見学会



# かいほつ

34号

題字 細川小  
5年 池田祥吾

## 岡崎市特殊教育推進協議会

平成8年3月6日発行



永谷由美さんへ

広幡小学校長

有我亮介

由美さん、お元気ですか。新聞紙上であなたのことを知ってから、こんなに早くお会いできるとは思っていませんでした。

私は、由美さんから大切なものをいただきました。それは、希望、勇気と言ったらよいのでしょうか。例えば、

（もっと元気を出したらどうですか。あなたはもっとしなければならぬ大事なことがあるのではないですか。あなたと、私を励ましてくださっているような気持ちです。

英語検定準一級の合格、改めておめでとうございます。生まれて間もなく手足が使えなくなり、ベットで寝たまま勉強されたのですね。車椅子も使えないのですね。口に木琴のばちのようなものをくわえてワープロを打っている姿もビデオで拝見しました。由美さんやご両親のご苦労が、今までのようであったのかは、乏しい私の想像力でも、自分なりに推察できます。

何よりも、私が心を動かされたのは、あなたの明るさです。ビデオでも、ベットで寝たままの講演でも、そう思いました。

初対面のごあいさつで「由美さん、きれいですね」と、私が言いましたら、由美さんは、

「看護婦さんが、頭のとっぺんから、足の先までびかびかにしてくれたんですよ」と言って、にっこり笑ってましたね。

「由美さんが明るく元気でいることが、社会の多くの人のためになります。私のしている仕事の何倍も」

偉そうな言い方ですが、私の口からこの言葉が出てきました。このことは「心に太陽を持つ」という題で、卒業記念文集にも書かせていただきました。

由美さん、またお会いできる日を楽しみにしています。

### 特殊学級進路指導委員会

## 事業所見学会

### 工場見学・講演・交流会

二月六日に、総勢百二十一名の参加を得て、『事業所見学会』が行われました。この会は、生徒と保護者に働くことの重要性、言い換えれば職業自立について認識を深めてもらおうとするものです。

午前中は、工場見学会としてソニー・タツパウェア・服部工業をそれぞれ三班に分かれて見学し、午後は生徒の交流会と保護者・教師の講演会を実施しました。

保護者の参加数は年々増し、実施後のアンケートを見ても、この会の趣旨が理解され、望ましい進路指導の方向が見いだされたものと考えます。検討すべき点として、

①障害者が働いている会社の見学、  
②入試や気候の関係から、二学期での実施、の二点が挙げられました。

今後はハローワークのご指導を仰ぎ、保護者の意見をも入れた見学会にしたいと考えます。参加者の『職業自立』に対する考えがより深まったことと思えます。

### 心に残った講演会

福岡中 稲垣 繁美

### 交流会で発表

葵中 石川恵美子

愛知県障害者職業センター豊橋支所といえば、三年生を連れて職業適性検査を受けに行ったことがあるくらいで実際の仕事の内容についてはあまり知らなかったが、今回、力石所長さんの講演を伺って、障害者の生活にまで踏み込んで指導する大変な仕事だということとが分かった。お話の端々から所長さんのざっくばらんな人柄とわが子のように親身に相談に乗っていらっしやる様子が伝わってきて温かい気持ちになった。

また、「素直で従順でありさえすればよい」というのではなく、自己決定できる力をつけてやることに残った。「早く子離れするよう」という言葉は、親御さんの胸に響いたのではないだろうか。

二月六日の午後から交流会をしました。おひるご飯を食べたら、たびをはいて着替えしました。着替えている時緊張しました。着替えたなら二回ぐらい練習をしました。踊っている時は、すこし緊張していたけど、ちゃんと踊れたのでよかったです。

ゲームをやりました。十二人のグループを作りました。二人組を作ってトランプをしました。楽しかったです。つぎに、安藤先生がゲームをしました。最初にじゃんけんの練習をしました。最初は、ごきぶり、つぎにカエル、ごりら、人間、えらい人の順番でやりました。楽しかったです。次に、三年生だけ自己紹介をやりました。帰りのバスの中ではしりとりをしました。すこし、バスでよかったけど、今年の交流会は楽しかったです。



毎年の光景であるが、入校式になると親子の別れがある。泣きながら別れを拒み座りこむ人、歯をくいしばり我慢する人、またA君のように、「帰るよ」の母親の言葉に「いいよ」の一言で足早に他の訓練生の輪に入っていく人、様々である。16年間の家庭での時間は誰もみな同じである。別れと

いう一つの状況にこれほど異なっていた行動になるのはなぜだろうか。生活を通しての体験の差か、親子の信頼関係か、今だに不透明である。入校時、寮生活も様々である。身辺処理能力一つを取り上げてもA君のようにすでに確立してて寮生活に何ら問題のない人、歯磨き洗顔、洗髪ができない人、自分の体が洗える人、洗えない人それぞれである。これら始めに身につけておかなければならない身辺処理が「できるか」「でき

ないか」は本人の自信につながる社会参加のために重要で就労に対する影響力は、計り知れないものがある。A君の働く現場の責任者の方が私に知的障害者を持つ人を雇うのは初めてであるがA君が一般の人と、どこが、どう違うのかと質問された。

## 自立への一步

春日台職業訓練校

岩瀬 重徳

職場においては作業能率、体力、返事、挨拶、応答等、どれをとってもしも何ら変わらないではないか、就労態度は同年輩の人より良いということである。

私は、A君の家庭環境、親子の信頼関係、等を説明

し基本的な生活習慣が身につくようにすでに確立してて寮生活に何ら問題のない人、歯磨き洗顔、洗髪ができない人、自分の体が洗える人、洗えない人それぞれである。これら始めに身につけておかなければならない身辺処理が「できるか」「でき

ないか」は本人の自信につながる社会参加のために重要で就労に対する影響力は、計り知れないものがある。A君の働く現場の責任者の方が私に知的障害者を持つ人を雇うのは初めてであるがA君が一般の人と、どこが、どう違うのかと質問された。

# 新担任

## この一年

今年度は、十九名の先生方が特殊学級をはじめ担任されました。フレッシュな特殊学級担任の二名の先生に、この一年を振り返ってもらいました。

三島小 伊藤 真美

「伊藤先生見つけ。」と毎朝私の背後から抱きついてくるT夫。私の一日の始まりである。

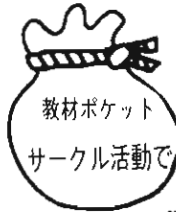
初めての特殊学級担任ということで、戸惑いと不安の中でスタート

トして、はや一年が過ぎようとしている。当初、「待って。」と言っても自分の思いで動き、「いやだ。」と三十分以上もすわりこんで動かない、予定した内容などほとんどできない悪戦苦闘の日々であった。

しかし、三人のビュアな心に接し、子供たちの進歩をお母さんたちと喜び合っていくうちに、今、三人の明るい元気な笑顔に囲まれ、毎日が楽しい。

子供たちと出会ったところは、これらの素直さにうれしくなり、砂糖たっぷりのぜんざいをつくっていたような気がする。でも、彼らなりの課題がなんとなく見えてきたところ、塩をたくさん入れてしまったようだ。そして、一年たとうとしているが、まだまだ塩が多いような気がする。

だから、今は「一つのを矯めて牛を殺すな」を肝に銘じて、気持ちのいいぜんざいを生徒とともに食べられるようにしたいと思う。



### 教材教具 サークル

ステンドグラス風かべかけ  
矢東小 尾崎由美子

TPシートを使った簡単なかべかけです。形や大きさを工夫して、教室の飾りやプレゼントに…。

(4) TPシートの大きさにアルミホイルを切り、一度しわを寄せてから伸ばす。

(5) TPシート、アルミホイル、厚紙の順に重ね、周りをビニールテープ

で止める。

(6) パンチ

で穴をあけ、リボン

二月三日に教材教具サークルがひらかれました。今回は、授業で使える教材のネタがたくさん紹介されました。竹細工、紙粘土ケーキ、わたがし製造機、ステンドグラス風かべかけなどです。実際に試作したり、活用のコツを話し合ったりし、楽しくアイデアの交換をしました。

(3) TPシートを裏返して、色マシックで色を塗る。



**がんばってます** (6)  
愛知教育大学

附属養護学校高等部二年

三上将典君 中村和将君

共に成長した学芸会

六ツ美中部小 三年三組

ぼくは毎朝サッカーをやっています。キーパーや攻めたりします。とても楽しいです。今度中学部と試合をします。国語や数学の勉強はよくわかります。作業では農園をやっています。時々失敗もします。社会では地図の勉強、理科では実験などをします。(三上)

「前を向いて言うんだよ。」練習のとき、A子のことを自分のことのように心配してくれた交流学級の子どもたち。初めて上手に言えたときは、大きな拍手で一緒に喜んでくれました。

学校は楽しいです。毎日通っています。最近一番楽しかったのは、カラオケ大会です。カラオケやオルガン、編み物の発表などがありました。ぼくは得意のマジックをやりました。友達は何、五人いて、一緒に話したり遊んだりします。楽しい先生もいます。(中村)

心の通う仲間がいたからこそA子はこんなに頑張れました。またA子がいたからこそ人を思いやる優しい心が育ってきたと交流学級の担任が話して下さいました。三年三組がスタートして、もうすぐ一年。子ども同士がお互いにかかわり合う中で、共に成長している喜びをかみしめています。

# 特殊教育への道II

矢作中学校

鈴木 忍

## 研修

美川中で最初に担任したO君は家族性の精神薄弱で、兄のT君と一緒に学区外から通ってきていました。

体も人一倍大きい彼が、五十音のうちの半分も読めないことが分かるのにそれ程の日数はかかりませんでした。絵カードを使って一字ずつ教えようと取り組みましたが、靴の絵に描かれた「く」の字を見ても「く」とはいわずに「くつ」としか言いません。一字一音の原則を承知はしていましたが、現実には戸惑いました。

「一字一音を如何に教えるか」障害児を担当して、初めての課題でした。それ以外にも障害児に接していけばいくほど分からないことばかりで基本的なところからの研修を痛感しました。

その年の夏休みから、東京で二泊三日で行われる障害児指導講座にはなるべく参加するようにしま

した。日本でも一流の先生方による講座はたいへん魅力的で、いろいろ学ばせていただきました。

それとは別に、これも毎年夏休みを中心に行われる安田生命社会事業団の障害児のための講座も、たいへん刺激に満ちたものでした。

他にも国立特殊教育研究所でも同様の自主講座があり、今でも行われているので、若い先生方にはぜひお勧めしたいものです。

その後、美川中では、情緒障害学級を新設し障害児の増加に対応したり、新香山中学校の開校二年目には、特殊学級の開設にかかわりたりしました。

学級開設で最も印象に残るのは、三島小での通級教室の誕生です。通級指導教室開設

文部省が通級指導教室を全国的に発足させたのは平成五年からでした。それに先立つ一年前から県下でも試行が行われるようになり四校指定の内の一校として三島小に置かれることになりました。

全てがまったく初めてというところで、当時の特殊担当指導主事の安藤先生と先進地である神戸まで研修に行きました。

学級の基本的なコンセプトとしては、普通教室のイメージをなるべく払拭するということでした。通常学級で不適応を起こしている軽度の情緒障害児が週に二・三回通ってくる場所が、代わり映えのない物であれば効果は期待できません。

喜んで通級でき、明るくて楽しいところでありたい。また、情緒を解放させるための教室備品等もそろえなければならぬ。幸い市教委の方でも特別予算を組んでくださり、施設面では最高のものができたのではと安堵しました。

指導者の面でも愛情豊かで、指導力抜群の高橋純子先生を得て好スタートを切る事ができました。

アメリカで障害児教育を受けたことのある通級生M子の母親が、「すばらしい教室ですね。お金もずいぶんかかっているし。」と嬉しい評価もしてくれました。

「より制限の少ない環境で障害児を育てる」ことが、世界的にも求められている中で、通級制度の果たす役割は、今後も大きくなって行くと思います。

まだまだ開拓する余地の多い障害児教育においては、現状維持は退歩につながると思います。今後もお互いに連携を深めつつ、道を歩みたいと思います。

六組、 さようなら  
大樹寺小 都竹 勇一

ぼくが、がんばったことは、プールで、顔をつけて泳いだことです。足をバタバタうごかし、少しすすみました。

おりぞめ紙でえんぴつ立ても作りました。修学旅行で、自分で買いたい物もしました。パズルと、うじ茶を買いました。

中学生になって  
もがんばります。  
勇一と私の  
六年間で学んだ事  
都竹 けい

六年間、本当にお世話になりました。母親とどう過ごしました。なりに何事に対しても一生懸命にがんばっている姿がわかるようになったことです。中学へ行っ

ても、全てに対して、親子とも、がんばりたいと思います。

表彰  
顕彰児童生徒 葵中 倉橋 俊裕 会長賞  
東海日日新聞第十五回学級新聞 葵中 山本敦子 石川恵美子  
コンクール特別賞 美川中 七組 横山恭子 牧野さおり

## 卒業おめでとう

卒業を前にして  
甲山中 深田 慶一郎

ぼくは、もうすぐ中学校を卒業します。中学生になった時、よく小学校へ自転車で遊びに行きました。卒業したらまた中学校へもあそびに来ます。

楽しいことをいっぱいお話しします。期待して待っていて下さい。

新しい世界へ  
深田 由美子  
息子が保育園、小学校、中学校と入学する時はいつも大きく息をすい、かけ声

もろ共バンジージャンプをする様な、そんな不安で一杯でした。でもその度に先生方や周りの皆さんに引っぱってもらい、今また、新しいステップに立とうとしています。ありがとうございます。そして、慶一郎中学校卒業おめでとう！

第四回岡崎市子ども伝統芸能祭

表彰  
顕彰児童生徒 葵中 倉橋 俊裕 会長賞  
東海日日新聞第十五回学級新聞 葵中 山本敦子 石川恵美子  
コンクール特別賞 美川中 七組 横山恭子 牧野さおり